

捨てればごみ、分ければ資源

平成27年8月5日（水）に、東沓掛区長・とよあけ生活学校の方々・豊明市職員が東沓掛区の燃えないごみの分別状況について調査を行いました。結果は、裏面のとおりです。収集したごみの中には、中身の入ったライター及びスプレー缶、穴の開いていないスプレー缶、乾電池が入っていました。これらの行為は、ゴミ収集車の火災事故にもつながり危険でありその後のごみの処理にも影響が出ます。

また収集したごみの中には、資源ごみが約31.5%混ざっていました。特に金属であるスチール類・アルミ類、ビン類といった資源ごみが多くみられました。中身の入ったビン類、缶類、プラスチック製容器包装も目立ちました。

小型家電については4.3%でした。小型家電は不燃ごみとしてもお出しいただけますが、指定の回収場所（平成26年度～ごみの分け方・出し方パンフレット参照）にお出しいただきますと、ごみの減量化や資源の有効利用につながりますので、ご協力をお願いいたします。



缶だけではなく、鍋やフライパン、やかんなども資源ごみです。また、スプレー缶は必ず中身を使い切って穴をあけて出してください。



平成27年度 不燃ごみ組成調査結果

調査日 平成27年 8月 5日 対象区域 東沓掛区

分別種類	分別品目	重量 (kg)	重量比率 (%)
不燃ごみ (55.2%)	不燃ごみ計	78	55.2
	不燃ごみのうち家電	6.1	4.3
可燃ごみ (13.3%)	可燃ごみ計	18.7	13.3
	可燃ごみのうち生ごみ	0	0
資源ごみ (31.5%)	プラスチック製容器包装	0.1	0.1
	紙製容器包装	0.1	0.1
	牛乳パック	0	0.0
	衣類・布類	0	0.0
	ペットボトル	0.1	0.1
	アルミ	0.6	0.4
	スチール	26.2	18.6
	ビン(乳液・化粧水・整髪料・美容液・香水・育毛剤)	0.6	0.4
	ビン(飲食用)	16.1	11.4
	乾電池	0.6	0.4
粗大ごみ	粗大ごみ	0	0
合 計		141.1	100.0

